

受講された方の感想

石見 雅之

たいへん有意義な講義内容でした。この企画を考え、実行されたセンター長をはじめスタッフの皆様、そして各講師の用意周到なプレゼンやアフターフォローに謝意と敬意を表します。グローバルな環境問題を様々な局面から取り組む環境研究センターの姿勢に共感を覚えた次第です。各講座で老若男女が参画、テーマごとのシュミレーションに長年培った老人の知恵と若人のフレッシュな発想がコラボレーションとなる興味深い試みが楽しかったです。今回の受講ではまた亀山市の豊富な人的資源とそのネットワークを再認識できました。研究センターの役割は多岐にわたりますが、英知を結集して亀山市の環境保全に邁進されますよう祈っております。



伊藤 かよ子

昨年（AKP）に参加をして、今回で二度目です。「亀山市民大学キラリ」を受講する事によってポイントがつくと知り、はりきって受講させて頂きました。受講すると決めた以上、時間の許すかぎり参加しようと決心して臨みました。

第1回目は、開講式と「リニア新幹線について」亀山の未来を語ろう、何だか遠い先の未来、どんな風に想像したら良いのか。第2回目は50年程前に卒業したわが母校の亀山高校での講座、パソコンを使ってのエコライフ診断書の作成、私の家のエコライフの取り組み度、光熱費、ガソリン代の標準との比較、興味のわく講座で時間の経つのも忘れ、又、受講者の皆様と主婦の観点からの話しはつきず有意義な一日を過ごすことができました。

第3回目はシャープ亀山工場見学で、数人の友達と参加しました。案内された第二工場ではロボットが精密に確実に動いており、屋上と貯水池には太陽光パネルが敷き詰められ、これによって発電された電気は、工場の操業電力の一部として役立っているとの事です。

第4回目は、関支所と関宿での「いのちを守るアドバイザー養成講座」で、私達の班は地藏院から西の追分の方へ向かい、問題点等として、例えば用水路や消火栓の配置具合等々、良い点は、今回知ったのですが、景観を保つために街道沿いには電柱が無く、地震で倒れる心配がないことです。ディスカッションで学んだことは今後活かします。第5回目と特別講演は医療についてでした。日本の保健制度は素晴らしいと聞き及んでおります。喜びや若さをつくる人生の指針として、健康に十分留意しながら日々悔いのない人生を送りたいものです。このようにして「市民大学キラリ」により、キラリと光れる充実した日々を送れた満足な一年であったと思っております。

受講された方の感想

竹田 五十吉

「亀山市民大学キラリ」の受講は五年連続となりました。昨年度同様に皆勤賞を受賞し、有意義な経験をさせて頂いたと改めて振り返っています。

「リニア新幹線が新しい日本をつくる、地域を変える」という講座を受講し、30年後の亀山地域の変容を想像してしまいました。また「くらしのアドバイザー養成講座」受講後には、わが家のエコライフ診断を行い、外灯、電灯、蛍光灯類はLEDに交換しました。早速わが家でも環境活動ポイント制度（AKP）への登録・申込み、活動を始めました。最終報告が楽しみです。また、防災意識の向上を図る「いのちを守るアドバイザー養成講座」の前に、茨木、栃木の大雨による自然災害が発生し「防災対策の知識を持つこと」そして「災害時にそれを活かすこと」の重要性をひしひしと再認識することとなりました。今後は減災についても考えていきたいと思えます。そして、亀山地域の医療状況に始まり、生活習慣病の予防と多岐にわたり教えて頂き、今回も受講してこそ得られたものの多さを実感しています。次年度の講座にも是非参加させて頂こうと考えています。一年間どうも有り難うございました。



西村 邦昭

亀山市民大学キラリは、5年連続で受講をさせて頂きましたが、今年度は6講座と言う回数も少なかったせいか？全ての講座を受講することが出来ました。一年間色々と勉強をさせて頂きましてどうも有難うございました。中でも『くらしのアドバイザー養成講座』を受講してエコの大切さを学び、我が家の電気を全てLEDの蛍光灯などに交換をしたら驚くほど電気の使用量が大幅に削減しました。また『いのちを守るアドバイザー養成講座』や『予防医療』についてなど、幅広く教えていただき大変勉強になりました。今後は環境意識の向上と共に紀伊半島沖の南海トラフ巨大地震がいつ起こってもおかしくない・・・？とも言われていますが、東日本大震災を教訓に誰もが一度は防災意識が高まったものの月日が経つにつれて徐々に風化してきているのが現状であり、防災意識の維持向上の為に市民大学キラリでは毎年、命を守る防災教育の講義も取り上げていただけると、いち市民としては嬉しいことですので、また来年度もよろしくお願します。

受講された方の感想

宮崎 数子

「亀山市民大学キラリ」の講座を2年間受講させて頂きました。環境問題や防災、地域医療、くらしのアドバイザー等、大変いい勉強になりました。朴先生を始め講師の先生方の有意義な講座を受けて、視野も広がり今後地域に役立つことができればと思っています。

まずひとつに東南海地震も30年以内に起こる可能性と推測されています。この巨大地震の災害に備えがどれほど出来るか不安です。常に防災意識を高める事が重要視されています。次に医療問題、10年後には在宅医療、訪問介護の取入れ、医師不足4000人等、深刻な事態が到来する可能性があります。それには定期的に健診を受けて、自己管理が大切だと分かりました。そして地球温暖化、省エネを心がけなければなりません。色々とむずかしい問題に直面している中、この「市民大学キラリ」で学ばせて頂いたことに感謝しています。



宮村 照子

私は、平成27年「亀山市民大学キラリ」に初めて参加しました。環境や文化・健康福祉等についての講座内容で、私たちの生活に密着した大切なお話ばかりでした。その中でも特に「環境(地球温暖化と省エネ)」に関心を持ちました。新聞・テレビ等でよく耳にする言葉ですが、自身「実際、今までどれくらい取り組んできたか」と、聞かれても返事が出来ない位安易な気持ちでいたことは確かです。このところ猛暑や暖冬と言われる程の異常気象続きであり、地球温暖化対策としてCO²の削減が挙げられる。多くは石油・ガソリンの燃焼、電気(供給)からであり、温室効果ガスを抑えなければならない。各家庭でのCO²の排出量は10年前に比べ約35%も増加しているそうです。私たちが生活していく上で最小限努力したいことを掲げてみました。①適正な室温で夏のクールビズ(28℃)冬はウォームビズ(21℃)②節電・節水(無駄に使わない)③ゴミの減量(ゴミを出ない工夫)④再利用可能なものは回収する⑤車の利用(エコドライブ)など「亀山市のエコライフ診断」を見ても、習慣づけることが大切であります。生活を快適にクリーンに過ごしていくには一人ひとりの努力と協力が必要不可欠です。私たちの地球(大気汚染・森林破壊・水質汚染等無くすこと)を守ることができると思います。来年もこの講座で「考える機会」を持てるよう受講したいと思っています。